

☎ 連携センター相談事例紹介

「最期は自宅で家族と過ごしたい」

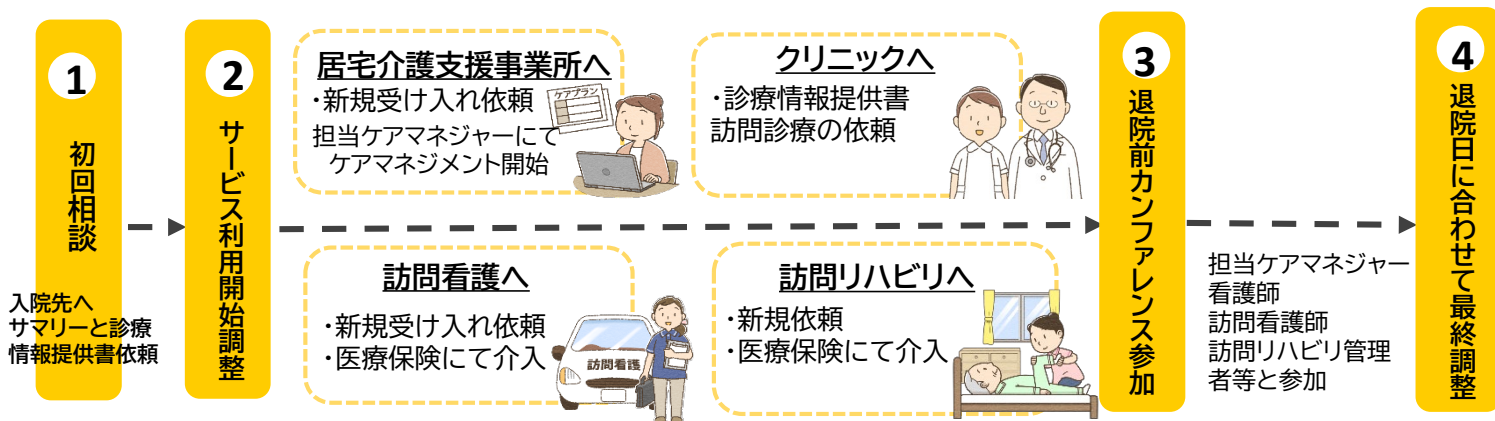
要介護4 82歳 女性

【病名】大腸癌 転移性肺癌の末期

【ADL】歩行には介助が必要。徐々に筋力低下している。

- ・今回、誤嚥性肺炎、食欲不振で入院加療となった。
- ・嚥下機能低下により誤嚥性肺炎を繰り返しているため胃瘻造設を行った。
- ・現在、食事摂取できるようになり少量ずつ経口摂取を再開している。
- ・末梢血管確保困難のため、右上腕部にCVポート造設。

本人、家族ともに“自宅で最期を迎えたい”という強い希望があり、入院先のMSWより在宅サービス調整の相談があった。



今月の事例ポイント

在宅サービスを整え退院、末期の悪性腫瘍患者であるため、訪問看護と訪問リハビリは医療保険にて介入、訪問診療は2週間に1回の訪問計画となりました。

粘稠痰が多く肺炎再発のリスクが高いため状態観察と、CVポートのへパフラッシュを定期的に行いながら住み慣れた自宅で家族と一緒に過ごします。

〒683-0852米子市河崎580

真誠会医療福祉連携センター

☎ (0859) 24-5557
FAX (0859) 30-2677



小山 雅美



青戸 真理
【営業担当】



竹下 彩



中田 純平
【営業担当】

教えて連携センター／

真誠会Q&A



Q. 真誠会セントラルクリニックを詳しく教えて！



真誠会セントラルクリニックは米子市河崎にあり、キレイなガラス張りの建物です。

“地域のかかりつけ医”として、最新の検査機器も揃えており、質の高い医療を提供しています。2階には美容外来、連携センターがあります。

また、「介護老人保健施設ゆうとぴあ」「透析施設オアシス」を併設し、同敷地内には「サービス付き高齢者向け住宅ホスピタウンレジデンス」があります。

何でも相談できるクリニックを目指しておりますので、何科を受診したらよいのかわからない場合や健康診断で異常を指摘された場合でも、お気軽にご相談ください。

真誠会セントラルクリニック公式HP

真誠会セントラルクリニック ☎29-0099



今月のコラム

担当：竹下

「伊勢神宮へ参拝」

先日、家族で初めて伊勢神宮へ参拝しました。

とても天気が良かったのもありますが、特に空気が澄んでいて木の間から指す日の光からパワーをいただいているようでした。

伊勢神宮に祀られている“天照大御神”は“神々の世界を治める日の神”としても伝えられ、気持ちの問題かもしれないかもしれませんが、普段見る光と輝きが違うように感じました。

神宮の森には樹齢数百年と言われる巨木が多くあり、1本1本に手を当て地道に生きることの大切さを感じとった気がします。

普段体感することのない雰囲気、身も心も清らかになりました。

煌めく光に
パワーを感じます



真誠会

Instagram

Follow me!



ぜひ一度ご覧ください
真誠会がまるわかり！
いろいろ情報を更新中！



真誠会



ホームページ
空床情報更新中!!

施設の概要なども
載っています。